

ウナギの研究

水産科 3年 山崎 歩

水産科 2年 松本 泰寛 矢野 良延

1. 研究動機

私たちがウナギの研究をしようと考えた理由は、いまだ確立されていない養殖技術を「私たちが簡単に安く完全養殖を成功させてしまおう!!」という思いで取り組みました。大変な事だとは思いますが、もし完全養殖によりウナギを増やすことができれば、たくさんウナギを食べられると期待しています。

2. 研究方法

1) 成熟試験

- ・ 親ウナギの確保
- ・ 焼き印
- ・ 雌雄判別 (ゴナトロピン投与)
- ・ サケ脳下垂体投与
- ・ 卵の熟成度確認
- ・ 排卵促進剤投与
- ・ 採卵、受精
- ・ 孵化、育成



2) 稚ウナギのエサ試験

3. 研究結果

今回の研究では、循環のための水が止まってしまったことにより水質が悪化し水カビが出てしまい研究に使っていたウナギを死なせてしまい中断しました。

エサ試験ではさまざまな油をエサに混ぜてウナギに与えました。使用した油は、米油、ひまわり油、しそ油、ごま油、くるみ、粉末状インスタントコーヒーです。これらをエサに混ぜてウナギに給餌しました。しかし、こちらの研究も試験に使うエサがすぐにカビてしまい水質悪化も防げず断念しました。

4. 改善点と今後の活動

どの研究においても水質悪化が原因のため、水質の悪化を事前に防げるようにしたいです。試験中のウナギを死なせてしまったため、次回から水質管理をしっかりして、全ての個体で成熟試験を行えるようにしたいです。